

・はじめに

これから 11 月の留学報告書を始めます。インディアナの気候はだんだんと冷え込んできて、マイナスや一桁台の温度が続いています。寒波の影響で、11 月中に 1 度雪が降り、数センチ雪が積もりました。これまでで 12 月以前に雪を見ることはなかったので、びっくりしました。図 1 は雪が積もったときの写真です。



図 1 雪写真

・秋学期を振り返って

11 月 20 日で秋学期が終了しました。振り返ってみると、今まで金沢工業大学の講義で習ってきたことを中心に RHIT の科目を選択したのだが、復習の形になる部分もあれば、今まで習わなかった部分もあった。科目全体として、より深く学習するスタイルだと感じました。RHIT の講義に対して、金沢工業大学と違うと感じたことがあります。それは、テストの対策に対して今まで習ってきたことを見直すことと今までの過去のテストを自分で実際に解くことができ、対策することができることです。今までの知識をさらに深めることができたと同時に新たな知識も得ることができました。そのため秋学期は自分の中で充実した学期となりました。

・冬学期に向けて

12 月から冬学期がスタートします。この学期は挑戦を目標として、新たな気持ちで取り組んでいきたい。挑戦としたのは、秋学期は知識を中心としたものの科目で、少しでも知識がある状態の科目を選択しました。しかし、今回選択した科目は同じ専攻の科目であるが、少し違う特色の科目を選びました。私は、冬学期に 3 つの科目を選択しました。

～Intro to Signal Processing～

信号処理を中心とした科目です。フェーザ正弦波信号の表示、複素数表示、サンプリング、信号スペクトル、周波数応答を中心に学んでいきます。また、周波数や波形を観測するために MATLAB というアプリケーションを使用する。

～Intro to Embedded System～

プログラミングを中心とした科目です。入出力デバイス、アーキテクチャ、通信プロトコル、割り込み生成や処理、C 言語を中心に学んでいきます。これは今まであまり習ってこなかった新しい分野に挑戦とプログラミング自体の文字配列等が英語であり、学ぶのに最適な機会である認識したためこの科目を選択しました。

～Intro Probability with Applications to Statistics～

確率や統計を中心とした科目です。サンプルスペース、単変量確率変数、また確率論に必要な法則

や知識を中心に学んでいきます。この科目は、数学の最後の共通科目です。

・最後に

RHIT に交換留学生として留学して、3 カ月が経ちました。たくさんの人と関わることができ、多くの仲間ができました。ただ、秋学期を経て、留学を終了して母国に帰る学生もいました。たくさんの人に出会うことができれば、別れもあり、うれしい部分と悲しい部分があります。本当に貴重な経験をさせてもらったと同時に冬学期が終わると自分がその RHIT の学生のような別れる立場になるので、悔いのなかったといえる生活にしたいです。以上で、11 月分の留学報告書を終わります。